

科目名	ネットビジネス							年度	2026
英語科目名	Online business							学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	演習
担当教員	山田 学	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 ネット収益をあげるビジネスモデルについて企業を取り上げ研究します。 関連法規についても学びます。									
【科目の概要】 商品を販売するチャネルとしてネット利用は急速に増加しています。販売に限らず、いまやインターネットで情報を発信する企業はありません。誹謗中傷による被害だけでなく著作権侵害などで加害者になるおそれもあります。 この授業ではインターネットを使い商品やサービスを提供するビジネスモデルを研究し、おぼえておいた方がよい法律や規制について学びます。									
【到達目標】 ・ネットショップ開業に必要な手続き・許可・法律などを理解できる ・サイト運営のトラブル発生時の対処や個人情報の扱いの注意事項を理解できている ・トラブルが起きた時の対処法を理解できている ・ネットショップおよびサービスのビジネスモデルを複数理解できている									
【授業の注意点】 毎回、パソコンを使用します。 毎回の提出物および小テストによって成績が評価されます。理由のない遅刻や欠席は認めません。授業の進捗状況により、内容が前後する場合があります。欠席した場合は各自その回の操作を自習してください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ネットショップ開業に必要な手続き・許可・法律などを理解している	ネットショップ開業に必要な手続き・許可・法律などをおおよそ理解している	ネットショップ開業に必要な手続き・許可・法律など一部を理解している	ネットショップ開業に必要な手続き・許可・法律などの理解は一部に留まっている	ネットショップ開業に必要な手続き・許可・法律などは理解できていない				
到達目標 B	サイト運営のトラブル発生時の対処や個人情報の扱いの注意事項を理解できている	サイト運営のトラブル発生時の対処や個人情報の扱いの注意事項をかなり理解できている	サイト運営のトラブル発生時の対処や個人情報の扱いの注意事項を部分的に理解できている	サイト運営のトラブル発生時の対処や個人情報の扱いの注意事項への理解が足りない	サイト運営のトラブル発生時の対処や個人情報の扱いの注意事項を理解できていない				
到達目標 C	トラブルが起きた時の原因を知り対処法を理解している	トラブルが起きたことを理解し、対処法を仰ぐことができる	トラブルが起きたことについては理解できている	トラブルへの認識が低い	トラブルへの認識がない				
到達目標 D	ネットを利用したビジネスモデルについて、複数具体的なものをあげて説明できる	ネットビジネスの収益モデルはおおよそ理解でき、部分的に説明できる	ネットを利用したビジネスモデルについて直接(C to C)取引について説明できる	ネットビジネスの収益モデルは理解できるが説明はできない	ネットビジネスの収益やサービスの構造が理解できていない				
到達目標 E									
【教科書】 最新インターネットの法律とトラブル対策									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題、小テスト等の結果を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ネットビジネス			年度	2026
英語表記		Online business			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ネットの法律とトラブル解決の基本	取引の基本とトラブルから消費者を守る法律を知る	1 ガイダンス	授業の進め方と評価方法の確認	3	
			2 トラブルと法律	ネットショップ関連の法律の種類を理解している		
2	ネットショップ開設の知識と電子商取引・通信販売の法律	ショップ開設と運営に必要なことを理解する	1 ビジネスの種類とサイトの基本	ショッピングサイトの種類とサイトの基本を理解している	3	
			2 許可や届け出が必要な事業	事業によって許可や届け出が必要な事業を理解できている		
			3 ケーススタディ	楽天の通販事業のビジネスモデルを理解できている		
3	特定商取引・通信販売の法律	特定商取引法の規制事項を理解する	1 法律の適用範囲	法律の適用範囲を理解できている	3	
			2 契約成立タイミング	契約成立のタイミングについて理解できている		
			3 ケーススタディ	Youtubeのビジネスモデルを理解できている		
4	景品表示法のしくみ	景品表示法の成り立ちと規制	1 成り立ちと目的	景品表示法の成り立ちと目的を理解できている	3	
			2 規制と不当表示	行っていいこと、だめなことの、侵害した場合のリスクについて判断ができている		
			3 ケーススタディ	メルカリのビジネスモデルと収益構造を理解できている		
5	ネットと企業のコンプライアンス	サイト作成時のリスク	1 サイト作成リスク	サイト作成時の法的リスクについて理解している	3	
			2 個人情報の扱い	個人情報保護法を理解し、適切な情報の取り扱いについて理解できている		
			3 ケーススタディ	食ベログのビジネスモデルと収益構造を理解できている		
6	ネット犯罪や悪質商法について	ネット犯罪や悪質商法の犯罪例を知る	1 被害者側の可能性	ユーザー視点での被害やトラブルの例を理解できている	3	
			2 加害者側の可能性	ウィルスメールの送信やアダルトサイトの請求など、被害のみでない例があることを認識できている		
			3 ケーススタディ	ニュースサイト、まとめサイトの収益構造について理解できている		
7	トラブルに遭ったら	トラブル対応	1 被害を受けた時の対処	損害賠償請求の手順と必要事項を理解している	3	
			2 権利、知的侵害対応	プロバイダへの削除依頼や情報開示請求の事例、知的財産を侵害された時の対処について理解している		
			3 ケーススタディ	Amazonの通販モデルについてビジネスモデルを理解できている		
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等